◎: DPの達成に大いに貢献する○: DPの達成に貢献する				D	P1		DP2 専門的な知識・技能																DP3	DP4	
		幅広い教養と汎用的技能										(*) :DP2-(b	専門的な		ニースのみ							自律・共働するちからと物 事を形にする力	総合的な学習経験と創造的思考力		
	1	単位数		DP1-1 自然科学につい	DP1-2(a) 岩石学、鉱物資	DP1-2(b) 地球科学に関す	DP1-3 統計学や機械学	D2-1 DP : 観察·仮説構築 数量的2	!-2 DP2	-3 DP2-4 ラシー: 論理的思考力	DP2-5 : 問題解決力:地	DP2-6(a) 地球的視点から	DP2-6(b) 科学技術が地域	DD2=6(a)	DD2_6(d)_1	DD2-6(4)-2	DD2-6(4)-2	DP2-6(d)-4 地球物質の循環	DP2-6(d)-5 社会資本の創	DP2-6(e) 種々の調査・分	DP2-6(f) 日本語による論	DP2-6(g) 地球科学的な現	DP2-6(h) DP2-6(i) 一定の制約条件 社会貢献のため	DP2	DD4
o 科目 区分	授業科目の名称	配当年次 修 択 由	備考	といく知り、人間や文化との関わりについて理解できる。	源字、層位応用地 学および応用地地 質学の基礎知識 を体系的に理解 できる。	の発展的・応用 的な知識を理解 できる。	報リアフン一)を	祭し、似就を博 化、説明 築することができ る数量的	と打え 週上に刊	断し、 Iに説明すること レに ができる。 果的に	▼ 坪科子の課題 ・ 対し、その課題題の 解決する発見報題の 関題必要体見報報 ・ はいする発見報を ・ はいする発見を ・ はいする必要を ・ はいするとで ・ はいできる。	物事を捉え、多う 面的に取り扱う 能力とその素養	在気や自然な響い に及ぼす技会に 効果及び技会において果たすべる がいて果たする理 解(*)	およい情報処理 に関する知能 それらを応用で きる能力	関9 る基 旋知識 及び技術の修得	的・時系列的は 解析技術の修得 と調査結果の総 合解析・評価技 術の修得	真現象に関する 知識とメカニズム の解明に関する 技術の修得	や地球資源の得効活用に関する知識と技術の修得	生、防災対策 環境保全に関す る知識と技術の 修得(*)	にめのナザイン	理的な配処力、 資料作成作力、 プルゼン、計議な どのコミュニケー ション能力及び 国際的に通用するコミュニケー ション基礎能力	问題胜決じさる	レデュ 9007 一定の制約条件 社会質能のため 下で与えられた。 の基礎能力と素 課題について、 菱(*) 計画・実施・取り なびチームワーク (*)	適し、は人体策で活体するにの の自己を管理し、チームワーク で仕事を進める能力を身に付 けている。さらに、社会人として の倫理観や社会的責任を持っ で行動をとる態度を身に付けて いる。	考え力及い目が収象で 定性的・定量的に捉え 能力を身に付け、具体 な課題を解決する学祥 たまり、課題解決 ための創造的思考力で 身に付けている。
<u> </u>	基礎セミナー	1 2		0	0							0													
3 教	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1 1 1		0			0		(0											
<u>4</u> 養 5 コ	知的財産入門 運動健康科学	1 1 1		0																					
	山口と世界 知の広場	1 1 1		0																					
	キャリア教育	3 1 1 2		Ö																	0			0	
英	英語 I bまたは II b	1 2																			0				
)	英語会話IbまたはIIb	1 1																			0				
文教		1 1		0								0												0	
共 社会 教	経済と法1	1 1 1 1 1 1		0								0												0	
育養	経済と法3	1 1 1		0	0	0		0 ()			0		0										Ö	
月 松 黎	自然科学2	1 1		0				0 0				0		0											
_ 一 学	: 人間の発達と育成2	1 1		0								0												0	
的教	文化の継承と創造2	1 1		0								0												0	
養	環境と人間	1 1 1		0								© ©												0	
	20 1 2	1 2 1		0																					
専 理 門 系 其 其	地球科学Ⅱ	1 2		0	0	0		0				0													
THE THE	化学実験A	1 2 1 2		0				ŏ č) (Ö														0	
粉雕其糕	_* 日本国憲法	1 2 2		0				0 () (0	0													0	
	地学概論	1 1 1 1 2		0	0	0						0	0												
	地球科学入門Ⅱ	1 2			0	0						0								0					
1	鉱物学Ⅱ	2 2 2			0	0									© ©										
	地球変動学I	2 2 2 2 2 2			0 0	© ©								0			0	0							
	岩石学 I	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			0	0											0								
3	地球環境学 I	2 2 3 3 2			0	0							0				0				0		0		
	地史学	3 2			© O	© O											0				0		Ŭ		
_ _ _ _ 学 科	地球科学実験 I A	2 2 2 2			0	0		0 0) (0					© ©								0	0
共通	地球科学実験 II B	2 2 2			0	0) (0	0					© ©							0 0	0	0
科		3 3			0	0		0 () (0	0										0	0	0		
1	情報科学概論	3 2 3		0	0	0																			
<u> </u>	特殊講義Ⅱ	2·3·4 1 2·3·4 2		0																					
_ 学 _ 科	電磁気学I	1 3 2 3		0				0 ()																
門	無機化学 I	2 2 2 2 2 2		0				0 ()																
育科	物理学基礎実験	3.4 1) (0	
門 目 科	生物学基礎実験 専門英語1	3.4 1	12+ 5 L m te																		0			Ö	
]		2-3-4 2	どちらか選択 地域環境科学																		ŏ				
_	地球資源学Ⅱ	3 2 2	コース必修 環境物質科学 コース選択 地域環境科学		0	0												0	0						
.	火山学	3 2 2	コース必修 環境物質科学 コース選択 地域環境科学		0	0											©		0						
	土木地質学	3 2 2	コース必修 環境物質科学 コース選択		0	0							0						0	0			0	0	
専門	自然災害科学	3 2 2	地域環境科学 コース必修 環境物質科学 コース選択		0	0							0				0		0				0		

理学部地球圏システム科学科 カリキュラムマップ

◎:DPの達成に大いに貢献する○:DPの達成に貢献する						D	P1			DP2																DP3	DP4	
						幅広い教養	と汎用的技能			PD2-1																自律・共働するちからと物	総合的な学習経	
				ľ	DP1-1	DP1-2(a)	DP1-2(b)	DP1-3	D2-1	DP2-2	DP2-3	DP2-4	DP2-5	DP2-6(a)	DP2-6(b)	DP2-6(c)	DP2-6(d)-1	DP2-6(d)-2	DP2-6(d)-3	DP2-6(d)-4	DP2-6(d)-5	DP2-6(e)	DP2-6(f)	DP2-6(g)	DP2-6(h)	DP2-6(i)	DP3	DP4
科目区分	授業科目の名称	配当必年	単位数 選 由 由	備考	自然科学につい て広く知り、人間 や文化といて理解 りについて理解 できる。	岩石学、鉱物を含物資・生物資・生物資・生物では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	地球科学に関する発展的・応用的な知識を理解できる。	・統計学や機械学 留の基礎をサイエンスを地で活動である。 が表現で活動である。 をいるで表現で活動である。 をいるである。 をいるでは、 をいるできない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 をいるでもない。 とっているでもない。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっ	観察・仮記機能的、仮記機能的、反正性を受ける。例如 できまれる できまれる はいい できまれる はいい できまれる はいい できる いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	数量的スキル: 自然は表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を示していれていい。 解析結果を行いていい。 解析は明を行っていい。 を表示を表示といいます。 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示といいます。 を表示を表示を表示を表示を表示といいます。 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示といいます。 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示といいます。 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示といいます。 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示といいます。 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示といいます。 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示といいます。 を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	情報な問いた。 特報な問に収集の表情である。 は、これのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	論理の思考別の 様々生の思考別の がいて行いを でいて行いを を当性を は説明の とを当性を は説明の ができる。	問題学が開始を対象を関し、自然の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	地球的視点から物事を捉え、扱う能力とその素養	科学技術が地環境 社会は 社会と 対象と が生場ない 対象と が生場たさ では を では を では を では を で の を が で で で で で で の に に に に に に に に に に に に に	数学、自然科学理 は関する応用 で ものに は りまる に そ き る 能 力	地球科学全般に関する基礎知識及び技術の修得	地質現象の立体的・時系列の的な解析技術の特別系列の的な。 解析技術果の結果の と合称の修総 合術の修修	地球で起こる地で関する地で表現象に関する地の解明に関する対象を対してなるの解明に得得がある。	地球物質の循環の指導の表別である。 対法用に対する。 知識と技術の修	社会資本の創 生、防災対策 環境保全に関す る知識と技術の 修得(*)	種析・解析・地域を生会の関係を生会の関係を生会の関係がある。 を関係した。 を主会の関係が、地域を生会の関係がある。 を主会の関係ががイントルートルートルートルートルートルートルートルートルートルートルートルートルート	日本部による地では、日本部による地では、日本部に記述れた。これが、日本のでは、日本の	地球は発生を表現しています。地球は大学のは一般のでは、大学のは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のできない。	一定の制約条件 下で与えられた 課題について、 計画・実施・取り まとめる能力及 びチームワーク (*)	社会貢献のための基礎能力と素養(*)	自然科学や地球科学の学修を 適し、広、社会で活躍するを 適し、広、社会で活躍する。 で仕事を進める能力を身に付 けている。さらに、社会人として の倫理観や社会的責任を持っ で行動をとる態度を身に付けて いる。	地球科学の基礎 考え方及定量的に 定性的・定に付け、 な課題の 験を通り前を 験を通り前で、 いて、 は りに付けている。
E	技術者倫理	2 2	2	地域環境科学 コース必修 環境物質科学 コース選択											0												©	
	野外実習	3 6	6	地域環境科学 コース必修 環境物質科学 コース選択		0	0		0	0	0	0	0					0				0	0	0	0	0	©	0
	基礎土壌学	3		環境物質科学コースのみ			0																					
	生物気象環境学	3		環境物質科学コースのみ			0																					
1 科		1 2		-	0		1	+				+																
· A	生物学概論	2			0		+	+				<u> </u>																
7 学	□ 1生物子似調 『『データサイエンス技術 I				0			0		0	0	-				0												
. 科		2 1		+			+	0		0	0	+				0												
. 英	地球データサイエンス技術演習					0	0	0	0	0	0	0	0			0		0									0	
: 科	計算機ソフトウェア及び演習					U			0	0	0					0		0									0	
鲤	学外実習 I a		1		0				0	0	U					U										0	0	
題。			2		ŏ		1	+				+														0	Ŏ	1
を留って			1		0																					0	0	+
カーヤ		1-2-3-4			0		+	_				-														U	0	1
型	· / I - / / / / -						+	_				-															Ŭ.	1
教 単	サイエンス実習Ⅱ		1		0	1	+	+	1	1	1	1	1														0	1
育 科 目			2								 		ļ													_	0	<u> </u>
월 □	文献講読	4 4				0	0						_										0	0		0		
Ħ	特別研究	4 10)			0	0		0	0	0	0	0									0	0	0	0	0	0	(
TEAM教育和	料 人文ムセイオン	1-2-3-4	1		0		1				ļ		ļ		0													1
英員實格関係	響博物館実習	3~4	3		Ω	1	1	1	1	1	1	1	1		0													1